

令和6年度

定 期 総 会

事業報告

想いをつなげる。カタチにする。

N P O 法 人

湘 南 ス タ イ ル

令和6年6月25日(火) 18:30～

茅ヶ崎市勤労市民会館

定 期 総 会 次 第

1. 開会挨拶

1. 理事長挨拶

1. 第 1 号議案 令和 5 年度 事業報告

1. 第 2 号議案 令和 5 年度 決算報告・監査報告

1. 第 3 号議案 令和 6 年度 事業計画（案）

1. 第 4 号議案 令和 6 年度 収支予算（案）

・来年度の体制

・理事・正会員の活動報告

＜総括報告＞

本年も無事、事業を推進できたことメンバーの皆さんに感謝いたします。
理事長に就任してから 3 年間活動をして来ました。中心的に活動を共にしているメンバーの方とは密に連絡を取り合いながらプロジェクトを進めて来ましたが、サポートしていただけるメンバーの方への情報発信が足りず、活動内容が見えないとご意見をいただくなど、反省点も多くある 1 年でした。今年度は私だけでなく他のメンバーにも運営に携わっていただく体制を作っていきたいと思っております。

＜設立から現在＞

2005 年、自主事業で成り立たせる NPO 運営を目指し、
●湘南地域の情報発信ポータルサイト「湘南スタイル」の運営・広告募集事業
●湘南地域の産業発展を目指した「湘南ブランド」の創出
●湘南「海の駅・山の駅」建設提案
の事業を掲げ、産業・市民・公共機関の 3 分野をつなぎ、地域の活性化を目指してスタートし現在に至っています。

設立からの 3 年間は、志はあれど活動資金は乏しく、組織運営上大変厳しい時代でした。NPO を自主事業で成り立たせることは難しく、岐路に立っていた 2009 年、組織運営と地域課題解決の糸口と出会ったのは、神奈川県ボランティア活動基金 21 に「湘南みかんの木パートナーシップ」プログラムでエントリーし、4 年間の協働事業を受託したと同時に、茅ヶ崎市の市民提案型協働事業「食と農のポータルサイト・おいしい茅ヶ崎」の事業受託でした。

2 つの行政との事業受託したことで、事務局職員の人件費を計上することができ、NPO として組織運営上、自立の目途が立ったことが大きなきっかけとなりました。

2 つの協働事業をきっかけに「食と農」をテーマに社会課題解決のための視点でメンバーが知恵を出し合った結果

茅ヶ崎市産米使用災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発

農水省 6 次産業化支援事業の神奈川県内の農水産業者 42 社に対し、4 名のプランナーを派遣し、6 次産業化の礎を築く事業の実施。

引きつづき、農水省「農ある暮らしづくり交付金」の受託により「ふれあい田んぼ塾」「ふれあい畑塾」の事業を実施、持続可能な仕組みを築いてきました。

続いて、茅ヶ崎市との 6 課連携による「茅ヶ崎 100 年 P J」として、現「道の駅」予定地一帯の柳島向河原地区アクションプランとしての土地利用基本計画を茅ヶ崎市より業務委託を受け冊子を制作し、茅ヶ崎市へ提示しました。

その後、茅ヶ崎市の市民提案型協働事業を通じ、「FuboLabo」「文化生涯ポータルサイト」「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」など、茅ヶ崎の情報発信に協力し、団体としての Web 発信力を築くことができました。

湘南地域の情報ポータルサイトを築くため、設立当初湘南地域の有力企業に2年間かけて80社ほど営業活動に回った苦労を思い出します。そのような中で慶応大学SFCとの産学連携で「人参焼酎さん」の開発・「浜降祭ライブ中継」や環境保全の視点から「ベロタクシー」の運行など厳しい経営環境の中で、NPOとして、どのような運営・資金計画をしていくべきかを学習した時期でした。

以降、コミュニティビジネスを通じての事業は、どの事業も在庫リスク「0」の仕組み形成で、受注や参加を確定してから運営を開始することを基盤に進め危険リスクを回避しています。是非事業者の方は、参考にして下さい。

2009年、神奈川ビジネスオーディションにエントリーし、県知事奨励賞・経営士会賞・コミュニティビジネス賞の3賞を受賞し注目を浴びるNPOとなりました。神奈川県中小企業センターより、経済産業省が新規開設するNPO出資事業の強い勧めがあり、10年間の出資助成（劣後ローン）を受けることとなりました。

平成30年度には実施事業の他、アグリビジネスコンサル事業などで予算を上回る収益を上げることができ、出資助成以外の借入金を返済することができました。

また、令和1年度は前々理事長の藁品様より500万の寄付金を頂き、借入金を全額返済する事ができました。

令和2年度は、身軽になった団体でコロナ関連の補助金を除いても、次年度の活動費を残せる体制になっております。

2018年から3年間行った「かながわボランティア活動推進基金21」との協働事業「湘南ワンハンドレッドプロジェクト」では、大変多くの方に関わっていただき、団体としての活動の幅が大きく広がるきっかけとなりました。

2023年11月には「湘南ワンハンドレッドプロジェクト」を進化させた「まちがまるごと仮想会社 ちがさきカンパニー」を新しいプロジェクトとしてスタートさせることができました。地域活動をボランティアに頼るのではなく、地域課題を解決しながら活動に見合った対価を得られる地域参加の仕組みづくりを助成金もうまく利用しつつ推進していきます。

<第 1 号議案>

NPO 法人湘南スタイル 令和 5 年度事業報告

令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

1.日程 開催会議

定時総会 2023 年 6 月 28 日(水)

2.実施事業報告

- | | |
|---------------------------------|-------|
| ① 湘南みかんの木パートナーシッププログラム | 15 年目 |
| ② ふれあい畑塾 | 11 年目 |
| ③ 農産加工品販売「湘南工房」 | 11 年目 |
| ④ 湘南 100 プロジェクト(茅ヶ崎カンパニー) | 6 年目 |
| ⑤ キッチンカー・フードトラック事業(湘南フードトラック協会) | 4 年目 |

以上 5 つの PJ を無事終了することができました。

既存のプロジェクトは継続しつつ、新たなプロジェクトも始まり次年度に向けて希望の持てる 1 年となった。

3.財務状況

当期は前期同様に大きな補助金・助成金もなかったが、収入はほぼ前期並み、経費の圧縮効果もあり利益は約 45 万円増加した。とはいえ今期も▲8 万円の赤字となっているので、今期については黒字化を目指す。

特定非営利活動に係る事業

<事業内容>

1. 湘南「みかんの木パートナーシップ」事業 15 年目

<内容>大磯・二宮地区のみかんの木パートナーシップ組合から運営委託を受けサポートを行った。

参加農家数は 3 軒（二挺木・井上・北原）

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止していた、みかん狩りイベントを再開して 2 年目。

みかん狩りイベントの販売口数は前年度比で 2 口減って 34 口販売。1,700kg のみかんを出荷。

みかんの予約販売は昨年度比で 180kg 減の 840kg を出荷。

合計で 2,540kg のみかんを出荷することができた。

【課題】

二挺木農園でのみかん狩りイベントは来園者約 60 名、ボランティアスタッフ 34 名の計 94 名でのみかん狩り開催となった。井上農園でのみかん狩りは来園者 25 名、ボランティア 14 名の計 39 名でのみかん狩り開催となった。今年も東海大学の万城目ゼミとサス研のメンバーがボランティアとして大活躍してくれた。事務局の手が足りなかった反省を踏まえ今年度はより多くの湘南スタイルのメンバーに協力依頼をする。

【大学との連携】

今年も東大みかん愛好会とは新歓コンパ「おはなみかん」の開催をサポート。山口直さんに協力してもらい、二挺木農園にて、湘南みかんを活用した新規事業開発の研修を実施。入会希望者を含め約 25 名の参加があった。東海大学では万城目ゼミとして、12 名の学生と摘果体験を行い事前研究で調べた湘南みかんの課題を大磯町議の岡議員アテンドの元、池田市長にもプレゼンをする機会を頂けた。また、今年度も山口直さんと共に計 3 回学外講師として授業を担当した。1 回目は二挺木農園を訪問し、湘南ミカンの課題をリサーチ。2 回目で湘南みかんを活用した商品開発のプレスと開発商品のまとめ、3 回目は大学の講堂でのプレゼンを行なった。学生が考えたビジネスプランはアグリビジネスコンペティションにエントリーし、3 チーム中 1 チームが審査員特別賞を受賞した。

【地域連携】

元チガラボスタッフの斉藤さんが主催するサス研では 8 月の摘果作業に約 10 名が参加。みかん狩りイベントには 2 日間合計で 23 名の方が収穫と出荷の手伝いに参加していただいた。

【活動報告】

4月18日(木)	東大みかん愛好会打ち合わせ
5月5日(金)	おはなミカン開催 東大みかん愛好会
7月25日(火)	東海大学万城目ゼミ 摘果体験及び事前研究発表会
8月3日(木)	みかん摘果体験 サス研他ボランティア
9月20日(水)	パタゴニアプロビジョンズ訪問
9月22日(金)	みかんを活用した新規事業開発 東海大学万城目ゼミ
10月13日(金)	みかんを活用した新規事業開発 東海大学万城目ゼミ
10月20日(金)	二挺木農園視察 東海大学万城目ゼミ
10月27日(金)	みかんを活用した新規事業開発 東海大学万城目ゼミ
11月10日(金)	神奈川県職員NPO研修 大磯二宮みかん農家視察
11月18日(土)	二挺木農園みかん狩りイベント
11月25日(土)	井上農園・北原農園みかん狩りイベント
11月28日(火)	二挺木農園みかん箱詰め作業
12月21日(木)	神奈川県職員NPO研修受け入れ みかんジュース梱包
12月22日(金)	神奈川県職員NPO研修受け入れ みかんジュース梱包・発送

・PJメンバー	中村(雅)・山口直・菊池奈々・原悠樹・渡部	
・対象者	みかん農家・一般消費者・企業	
・決算額	企画・パンフ・イベント・みかん代金・加工品	115万円

2.ふれあい畑塾

11 年目

＜内容＞畑塾は鈴木塾長との連携により、東・西・南 3 か所計 40 区画で展開。募集方法を随時募集に切り替えたことと、社会的情勢から順調に事業が進んでいたが、現在 3 区画が空き区画となっている。畑に看板を設置するなど広報を強化し未稼働の区画をなくす。

11 月 9 日には山宮さん宅で秋の収穫祭を開催。大人と子ども含めて 34 名の塾生に参加していただいた。今年度も秋に開催予定。

試験的に行なっている本村子ども食堂への寄付も数組のメンバーで行なっている。

【活動報告】

毎月第2第4土曜日 東・西区画指導日

毎月第2第4日曜日 南区画指導日

9月2日(土) 枝豆狩り放題イベント

9月17日(日) 現地説明会

11月5日(日) 秋の収穫祭

3月2日(土) 現地説明会

3月23日(土) 現地説明会

・PJ メンバー リーダー：渡部 指導者：鈴木

・対 象 者 農家・市民・企業

・決 算 額 企画・パンフ・イベント費 3 万円

3.地場商材開発販売「湘南工房」

11 年目

＜内容＞災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業とみかんパートナーシッププログラムから発展した湘南みかんの加工品及びトマトジュース等、地産地消を推進する農産加工品開発販売事業。

農産加工品については、ダイナックが運営するゴルフ場 5 件を中心に、茅ヶ崎市観光協会や横浜そごうの中元ギフトに採用。地域の店舗では「C の辺り」、「とまり木」、「TREX OCEAN VILLAGE」で販売中。

当団体が持つ販路を地域の店舗にも提供して、高級食パンの「晴れパン」の商品を平塚富士見カントリークラブへの卸売を継続中。ゴルフのお土産としての需要あり。

・PJ メンバー リーダー：渡部

・対 象 者 農家・市民・企業

・決 算 額 農産物仕入・資材・運賃・営業費 240 万円

4. 湘南ワンハンドレッドプロジェクト(茅ヶ崎カンパニー) 6年目

＜内容＞2018年から3年間かながわボランティア活動推進基金 21・協働事業負担金の事業として神奈川県基金事業課を通じ、神奈川県総合政策課及び湘南地域県政総合センター企画調整課との連携によりスタートした事業。今期はまちの人事部「まちがまるごと仮想会社茅ヶ崎カンパニー」という発展系のプロジェクトを本格始動させた。地域で活動をしたいと思っている企業人が自らが持つスキルを地域のNPOや市民活動団体、企業などの課題解決に参加できる、企業人と企業・団体をつなぐプラットフォームづくりに取り組んでいる。

【NEC との取り組み】

日本電気株式会社コーポレート事業開発統括部からの委託事業として「高校生のためのオンライン進路相談サービス」の相談員の募集と研修を今期も受託。中村容さんを中心に様々なバックグラウンドを持つ28名の方に相談員として登録していただき、高校生との面談を実施。

【茅ヶ崎カンパニー】

まちがまるごと仮想会社「茅ヶ崎カンパニー」は運営メンバーと始動に向けた協議を重ね2023年11月にZENKIGENのサザンビーチのオフィスでキックオフミーティングを開催。2024年6月現在でメンバーが48名となり、それぞれが持つスキルを生かして地域課題の解決を行なっている。

【活動報告】

6月19日(月)	ボードメンバーmtg
6月26日(月)	ボードメンバーmtg
7月3日(月)	ボードメンバーmtg
11月1日(水)	Kick off ミーティング
12月6日(水)	第1回カンパニー会議
12月13日(水)	第1回ブレスト会議
1月10日(水)	こどもファンドmtg
1月22日(月)	こどもファンドイベントチーム分科会
2月6日(火)	こどもファンドロゴ制作WS事前mtg
11月11日(日)	こどもファンドロゴ制作WS
3月16日(土)	こどもファンド成果発表会
3月29日(金)	ボードメンバーmtg

・PJメンバー	中村(容)・山口(順)・内波・池田・原・市川・小野寺・大西・中島・山口(直)・四條・渡部
・対象者	地域住民・企業
・決算額	企画・運営・イベント費・消耗品
	21万円

5.キッチンカー・フードトラックプロジェクト(湘南フードトラック協会) 4年目

＜内容＞ニューノーマル時代の新しいカタチの食の提案や、キッチンカー、フードトラックを活用した地域活性を行う湘南フードトラック協会との協働プロジェクト。当団体のバックオフィス機能の提供や、新規出店場所の開拓、キッチンカーを起点にしたイベントの提案等を行う。今期は住友電工オプティフロンティアの納涼祭や、東邦チタニウムのランチ出店など、地元企業での出店がスタート。トライアルサウンディングを活用した茅ヶ崎市役所前広場でのキッチンカーウィークも毎月平日5日間で開催中。茅ヶ崎市とは災害時にキッチンカーによる避難所での炊き出し等を行うなどの災害協定を締結し、行政との連携も深めている。2025年7月に開業予定の「道の駅 湘南ちがさき」とも出店に向けた協議を行なっている。

【活動報告】

6月6日(火)	運営メンバーミーティング
6月23日(金)	住友電工オプティフロンティア打ち合わせ
7月10日(月)	運営メンバーミーティング
7月18日(火)	東邦チタニウム訪問
7月21日(金)	住友電工オプティフロンティア納涼祭
9月2日(土)	市役所夜市
9月11日(月)	運営メンバーミーティング
10月19日(木)	運営メンバーミーティング
11月28日(火)	日本キッチンカー経営審議会
12月2日(土)	市役所クリスマスマルシェ
12月21日(木)	運営メンバーミーティング
2月2日(金)	キャンピングカーフェスミーティング
2月8日(木)	日本キッチンカー経営審議会
2月21日(水)	防災対策課訪問 災害協定について
2月29日(木)	ファーマーズフォレスト 道の駅での出店について
3月1日(金)	運営メンバーミーティング

・PJメンバー	内波・渡部	
・対 象 者	地域住民・企業	
・決 算 額	出店料・企画・運営・イベント費・消耗品	1万円

6.その他プロジェクト

・ちがさきウェルネス都市化プロジェクト

小野寺元希さんの医療と日常を身近に。という想いから始まったプロジェクト。

現役世代から健康に意識を持ってもらうためのイベントや現役世代の男性を中心としたビーチヨガなどを開催。

【活動報告】

毎月第4日曜日 おっさんずヨガイベント サザンビーチ

・PJメンバー 小野寺・渡部

・EARTHING FIELD

原悠樹さんと耕作放棄地となった田んぼの再生プロジェクトを計画していたところ、茅ヶ崎を中心に活躍するヨガインストラクターの ELLY さんも田んぼに興味があるとのことで、協働でスタートしたプロジェクト。原さんは米作りの指導と地権者との調整、団体はバックオフィス機能の提供 ELLY さんは自らが運営するコミュニティを中心に広報と参加者募集を行っている。

藤沢市打戻の小出川沿いの 15 年以上、休耕田となっていた田んぼを約 50 名の参加者で再生。今期は試験的な運用だったが、来期から助成金の獲得も視野に入れつつ茅ヶ崎の田んぼでの本格始動を目指す。

【活動報告】

8月8日(火)	初回打ち合わせ
10月2日(月)	定例ミーティング
11月30日(木)	定例ミーティング
12月18日(月)	参加者向け説明会
12月29日(金)	定例ミーティング
1月9日(火)	藤沢市役所訪問 ます県議
2月22日(木)	定例ミーティング
2月25日(日)	現地説明会
3月10日(日)	現地説明会
(4月28日(日))	草刈り
(5月26日(日))	田おこし・畦づくり
(6月9日(日))	代掻き・田植え
(6月16日(日))	田植え

・PJメンバー 原・渡部

3. 組織

(1) 会員

正会員 22 名(理事含む) 会員 4 名 アドバイザー 3 名

理事長 渡部健 理事 清水謙・市川靖洋・那須かおり

監事 四條邦夫

正会員 22 名 順不同 敬称略

竹村治亘	(会社経営)	杉村一憲	(市民活動家)	藁品孝久	(市民活動家)
中村雅和	(社会保険労務士)	久保田邦邇	(市民活動家)	西村誠	(会社経営)
市川歩	(会社経営)	中村容	(大学職員)	山口順平	(市議会議員)
四條邦夫	(NPO 代表)	那須かおり	(法人代表)	津金愛佳	(法人役員)
内波義雄	(会社経営)	池田一彦	(会社経営)	山口直	(会社経営)
小野寺元希	(看護師)	原悠樹	(会社経営)	清水謙	(会社経営)
市川靖洋	(会社経営)	中島淳	(会社経営)	大西裕太	(会社経営)
渡部健	(NPO 代表)				

会員 4 名 順不同 敬称略

鈴木稔彦	(農家)	菊池奈々	(市民活動家)	山宮立珠	(ピアノ講師)
菊池小夏	(会社員)				

法人会員 4 社

(株)ボンド (特非)セカンドワーク協会 (一社)4Hearts 小田急不動産株式会社

アドバイザー 3 名

川廷昌弘 吉田誠 笠岡誠一

名誉顧問 2 名

竹村治亘 杉村一憲

<第2号議案> 令和5年度 活動計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

科 目	予算	決算額	備 考
I 収入の部			
1 会費・入会金収入	204,000	171,000	正会員・会員・茅ヶ崎カンパニー
2 法人会費	120,000	30,000	法人会員 1社
3 法人事業収入		440,000	業務受託料 4Hearts
4 湘南スタイル交流会・イベント費	0	0	33,000円(みかん、加工品付)×33口、
5 湘南みかんパートナーシップ事業	2,200,000	1,345,920	みかん販売 94箱
6 ふれあい畑塾	1,080,000	972,734	38区画、イベント会費収入
7 地場商材開発販売「湘南工房」	3,800,000	2,741,520	おかゆ・みかん・トマト商品、アグリビジネス販売
8 ちがさきカンパニー(湘南100PRJ)	1,000,000	311,150	業務受託料、会費、イベント会費収入
9 キッチンカー・フードトラック事業	300,000	552,745	業務受託料
10 トヨタ財団		845,089	のきさきフルーツプロジェクト 経理委任
当期収入計(A)	8,704,000	7,410,158	
その他収益事業会計より繰り入れ	0		
当期収入合計 (A)	8,704,000	7,410,158	
II 支出の部			
1 事業費	総事業費		
①湘南スタイル交流会・イベント費	0	0	会費・イベント等
②湘南みかんパートナーシップ事業	1,580,000	1,150,996	みかん・パートナーシップみかん代金
③ふれあい畑塾	50,000	32,209	謝金、イベント費等
④地場商材開発販売「湘南工房」	3,400,000	2,398,759	おかゆ・みかん・トマトの原材料等、アグリビジネス
⑤ちがさきカンパニー(湘南100PJ)	600,000	209,904	人件費、謝金、イベント費
⑥キッチンカー・フードトラック事業	10,000	3,960	振込手数料
⑦トヨタ財団事業		845,089	人件費、業務委託料、会議費、賃借料
当期事業支出(B)	5,640,000	4,640,917	
2 管理費			
① 給料手当	1,800,000	1,800,000	団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	0	0	アルバイトスタッフ等
③ 運賃	30,000	0	
④ 会議費・接待交際費	50,000	16,500	会員 供花代
⑤ 旅費交通費	20,000	0	
⑥ 通信費	90,000	69,889	電話・郵便
⑦ 消耗品費	100,000	33,443	事務関連
⑧ 水道光熱費	0	0	
⑨ 諸会費	80,000	21,000	湘南振興財団、まちづくりスポット茅ヶ崎 他
⑩ 支払手数料	80,000	51,625	振込料、ネットバンキング使用料
⑪ 賃借料	60,000	85,536	コンテナ使用料、住所利用料
⑫ 保険料	40,000	40,712	NPO団体保険料
⑬ 租税公課	70,000	70,000	法人税・県民税
⑭ 雑費	10,000	0	
⑮ 顧問料	270,000	265,644	税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	50,000	0	
⑰ Webコンテンツ制作費	0	0	
⑱ イベント費	50,000	0	
⑲ 業務委託料	0	396,000	4Hearts 小冊子製作
事業管理費計(C)	2,800,000	2,850,349	
当期事業支出 (D) (B)+(C)	8,440,000	7,491,266	
事業費振替額 (E)			
当期収益 (F) (A)-(D)+(E)	264,000	-81,108	
その他事業会計より繰入	0		
営業外損益 (F)	0	11	受取利息
借入金返済支出	0		
経常利益 (G)=(E)-(F))	264,000	-81,097	
次期繰越金	0		

<第2号議案> 令和5年度 活動計算書

(その他事業に係る事業会計)

2023年4月1日から2024年3月31日まで

科 目	予算	決算額	備 考
I 収入の部			
1 事業収入			
①Web広告事業収入	0	0	
②その他広告事業収入	0	0	
当期収入計(A)	0	0	
その他収益事業会計より繰り入れ	0	0	
当期収入合計(A)	0	0	
II 支出の部			
1 事業費			
①ポータルサイト広告募集事業			事業計画書(その他の事業)のとおり
Webサーバー設置費	0	0	サーバー構築費
通信費	0	0	インターネット回線
②その他の広告募集事業	0	0	
当期事業支出(B)	0	0	
2 管理費			
消耗品費	0	0	
通信費	0	0	
研修費	0	0	
会議費	0	0	
事業管理費計(C)	0	0	
当期事業支出(D) (B)+(C)	0	0	
当期収支差額(A)-(D)	0	0	特定非営利活動事業会計へ繰入

貸 借 対 照 表

(特定非営利活動に係る事業会計)

令和6年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産計 】	【 2, 529, 883 】	【 流動負債 】	【 2, 113, 009 】
現 金	46, 459	買掛金	414, 983
小口現金	2, 941	未払金	0
普通預金	2, 280, 188	預り金	727, 464
商品	62, 403	仮受金	970, 562
未収入金	125, 392		
前払費用	12, 500		
【 固定資産 】	【 0 】	【 固定負債 】	【 0 】
		負債の部合計	2, 113, 009
		純資産の部	
		【 株主資本計 】	【 404, 374 】
		【 資本金 】	【 0 】
		当期純損益金	-81, 097
		【 利益剰余金計 】	【 416, 874 】
		繰越利益剰余金合計	416, 874
		純資産合計	416, 874
資産の部合計	2, 529, 883	負債・純資産の部合計	2, 529, 883

貸 借 対 照 表

(その他事業に係る事業会計)

令和6年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流動資産計 】	【 0 】	【 流動負債 】	【 0 】
【 固定資産 】	【 0 】	【 固定負債 】	【 0 】
敷 金		長期借入金	
		負債の部合計	0
		純資産の部	
		【 株主資本計 】	【 】
		【 資本金 】	【 】
		【 利益剰余金計 】	【 0 】
		繰越利益剰余金	0
		純資産合計	0
資産の部合計	0	負債・純資産の部合計	0

令和5年度財産目録
令和6年3月31日 現在
(特定非営利活動に係る事業会計)

	科目	摘要	金額	合計
資産	現金	手許現金在高	46,459	
	小口現金	トヨタ財団 手許現金在高	2,941	
	普通預金	湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部	1,626,510	
		湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部 トヨタ財団	651,970	
		さがみ農協 茅ヶ崎支店	986	
		湘南農協 八重咲支所	722	
	商 品	期末在庫 みかん加工品	62,403	
	未収入金	(株) ダイナックパートナーズ 他 2件	125,392	
	前払費用	テナント倉庫料 4月分	12,500	
負債	買掛金	進和学園 他 2件	414,983	
	預り金	トヨタ財団、源泉所得税 他	727,464	
	仮受金	ふれあい畑塾 22区画 他2件	970,562	

令和5年度財産目録
令和6年3月31日 現在
(その他事業に係る事業会計)

	科目	摘要	金額	合計
資産				
			0	
負債				
			0	

令和5年度監査報告

令和5年度、湘南スタイル監査報告

令和5年度(2023年4月1日～2024年3月31日)の事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録及び附属会計関係の明細を監査した結果、適法に処理記載されていると認める。

令和6年6月18日

神奈川県茅ヶ崎市室田2丁目12番22号

監事 四條 邦夫

<設立からの経緯>

実施時期	活動実績	活動の目的
西暦 2005年6月 ～2006年3月	5. 湘南地域ポータル Web サイト構築準備 (http://www.shonan-style.jp) 2. メンバー拡大（設立時正会員 14 名） 3. 自主運営事業創出活動模索 4. 国・県・茅ヶ崎市等公的機関連携模索 5. 産学連携先模索	●地域貢献・社会貢献や人間関係の形成を基盤とする「持続可能な社会づくり」の実現に向け、地域の活性化活動と自己実現を共生させる研鑽の場として 2005 年 6 月、まちづくり NPO 法人設立。 ・地域のためになるかどうか ・人のためになるかどうか を行動の第一選択事項として活動しています。
西暦 2006年4月 ～2007年3月	1. 湘南地域ポータル Web サイト 5 月 1 日立上げ 2. メンバー拡大（協賛会員拡大 8 名） 3. 湘南ブランド創出事業・人參湘酎さん開発発売 4. 神奈川県コミュニティビジネスオーディション入選 5. 神奈川県創業実現モデル事業支援対象事業者認定	●地域の活性化は、地域内で活動する、市民・NPO、産業者（商業・工業・漁業・農業）、公共機関の 3 分野をつなぐ中間支援組織の役割が重要である。さらに、単一の市域の枠を超えて、隣接するエリアをつなぐ広域連携が重要と考え、ポータルサイトの充実と神奈川県との連携強化を視野に入れた事業を行った。
西暦 2007年4月 ～2008年3月	1. 湘南地域ポータル Web サイトの充実 2. 慶應大学 S F C との連携による地域コミュニティ創出検証事業・浜降祭インターネットライブ中継の実施 3. ペロタクシー運行事業（環境エネルギー問題啓発事業） 4. メンバー拡大（正会員 14 名・賛助会員 21 名）	●当該年度の目標は、「産・官・学・民」の枠組みを築くため、慶應大学・文教大学、日本大学等、エリア内の大学との連携を行い、湘南地域の活性化をテーマに進める各校の教授・准教授との親交を深めた。市民や観光客の環境・エネルギー問題に関する意識高揚と省エネ型の交通手段の実証実験を目的として、公的機関の協力を得て、人が多く集まる夏季に人カタクシーを運行した。
西暦 2008年4月 ～2009年3月	1. 湘南地域ポータル Web サイトの充実 2. 茅ヶ崎市市民提案型協働推進事業「おいしい茅ヶ崎」受託 (http://oishi-chigasaki.com/) 3. 茅ヶ崎市産米使用・災害備蓄食糧「おかゆ」開発発売 2009 年 2 月 14,000 食完売（茅ヶ崎市 8,000 食納入） 4. メンバー拡大（正会員 14 名・賛助会員 28 名）	●「まちづくり NPO 法人」としての 3 年間の事業活動から、地域活性化の啓発・推進には、市民・産業・行政の 3 分野の全てにかかわりの深い「食と農」が最も効果的であると考え、地産地消の推進・安心安全な食・フードマイレージなど地域課題解決に向けた事業を実施した。その結果、茅ヶ崎市や農業者・産業者の協力が増え、Web アクセスからメンバー拡大につながった。

西暦 2009 年 4 月 ～2010 年 3 月	1. 湘南地域ポータルサイトの充実 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかん（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 東海大学教養学部連携・湘南ブランド創出PJ開始 ○経済産業省・まちづくり活動支援融資（政策金融公庫出資金、劣後ローン第一号）	●2009 年度は、メディア取材が増え、湘南地域の活性化を担う NPO としての認知度も高まった。2010 年度実施する「ふれあい田んぼ塾」は、茅ヶ崎市の学童保育に通う学童が 80 名参加し、収穫後に、災害備蓄食糧「おかゆ」に生まれ変わる稲作栽培を実施する予定となっている。また東海大学の教養学部との連携により、地域の活性化と実践的な教育の場の創出を目的として、学年横断型全体授業として、当該事業「湘南まるごと交流空間」を実施する。
西暦 2010 年 4 月 ～2011 年 3 月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter ）運営・管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 東海大学教養学部連携・湘南ブランド創出PJ開始 7. 「農(みのり)の駅」創出PJ 8. 茅ヶ崎市農業振興アドバイザー協定	●設立 6 年度目として、総事業費が、ようやく 1000 万円を超えるところまで、到達。しかし、依然として、不足資金が当該年度 50 万円、累計で 850 万円。湘南スタイル「みかんの木・パートナーシップ」プログラムが、コミュニティビジネスの範として、評価され、神奈川県協働事業として決定。同時に、日本財団の助成事業としても決定。かながわビジネスオーディションにおいて、奨励賞・CB 賞・日本経営士会賞を受賞。地産地消推進団体として、農林水産省より表彰。
西暦 2011 年 4 月 ～2012 年 3 月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用（HP/ Facebook /Twitter ）運営・管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ（加工品/みかん狩り/観光ツアー）発売 6. 農水省 6 次産業化委託事業 7. 神奈川県緊急雇用創出委託事業 8. 茅ヶ崎市農業振興アドバイザー協定	●神奈川県との協働事業を開始したことで、初めての職員を採用でき、組織運営が潤滑になった。また、期中に農水省並びに神奈川県からの事業委託を受託。総収入が前年度実績の 3 倍、累積の欠損を穴埋めすることができ、大きく飛躍した年度となった。 茅ヶ崎市との連携も進み、「農の駅」創出のための官民連携として、ちがさき百年プロジェクト（協働推進）が関連 8 課と連携して勉強会がスタート。

西暦 2012年4月 ～2013年3月	1. 湘南スタイルソーシャルメディアの活用 (HP/ Facebook /Twitter) 運営管理 2. 「おいしい茅ヶ崎」継続 3. 災害備蓄食糧「おかゆ」発売継続 4. ふれあい田んぼ塾開設 5. 湘南みかんパートナーシップ (加工品/みかん狩り/観光ツアー) 発売 6. 茅ヶ崎市協働事業：お父さん・お母さん のための子育て情報サイト 「FuboLabo ちがさき」開設 7. 茅ヶ崎市「柳島向河原地区アクションプ ラン作成業務」委託事業	●設立時 ・湘南独自のポータルサイト運営 ・異業種混合地域統一ブランドの開 発、プロデュース ・湘南「海の駅・山の駅」設置提 案 以上3点の実現に向け、事業をス タートさせてきたが、当該年度、 茅ヶ崎市との8課連携により、柳 島地区のアクションプランを作 成、設立時の目標に近づいたと実 感する年度となった。
西暦 2013年4月 ～2014年3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 茅ヶ崎市協働事業「文化生涯ポータルサ イト」 4. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パー トナーシップ」事業 5. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 6. ふれあい田んぼ塾 7. ふれあい畑塾 8. 6次産業化推進事業「農産品加工工場建 設」促進事業	●設立8年目にして、消費税の課 税NPO事業者となり、税務の面 においても社会貢献するNPOと なったことは感慨深い。これまで 実践してきた、コミュニティビジ ネスに関する講演依頼が、県内か ら4か所あった。 ●農水省6次産業化事業で、連携 先である、平塚の社会福祉法人 「進和学園」に農産加工場設置が 決定し、平成26年度運用が開始 される。就労支援・農業支援を通 じ、県内初の試みを進めるため、 販路開拓・広報支援を依頼され、 コンサルタント事業を開始する。
西暦 2014年4月 ～2015年3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パー トナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい田んぼ塾の運営 6. ふれあい畑塾の運営 7. 6次産業コンサルティング事業 8. 「湘南工房ブランド」開発事業	市民・産業者・行政をつなぎ、地 域活性化か活動を推進するた め、「食と農」を通じた公的機関と の連携を目的に助成金の公募に エントリーし、受託され関係を築 いてきた。しかしながら、 ●神奈川県協働事業（4年間）の 最終。 ●農水省農ある暮らしづくり交 付金（ 上記、2事業を持続可能な仕組み への移2年間）の最終年度。行さ せることが、助成金を活用する本 来の意義であるが、受託金額が大 きいほどその難しさを感じてお り、規模を縮小して継続事業とす る。

西暦 2015年4月 ～2016年 3月	1. 茅ヶ崎市協働事業「おいしい茅ヶ崎」 2. 茅ヶ崎市協働事業「FuboLabo」 3. 神奈川県協働事業「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい田んぼ塾の運営 6. ふれあい畑塾の運営 7. 6次産業コンサルティング事業 8. 「湘南工房ブランド」開発事業 9. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業にエントリー、2件の協働事業の採択が決定。	「みんなで創る湘南スタイル」のスローガンのもと、新たな10年に向かってスタートした。 国・県・市の助成事業が終了し、団体として自主運営していくことができるかどうかを問われる年度となった。 同時に、メンバーの新旧交代に時期に入っており、組織運営について、一年の理事会を通じて、定款の目的・会員区分の変更などを含め、活動メンバーや新規参加メンバーに対し、解りやすいパンフレットや組織体制図を作成 東大みかん愛好会・JT Bと連携して、みかん観光列車を小田原迄運行した。
西暦 2016年4月 ～2017年 3月	1. 湘南スタイルホームページ運営事業 2. 「おいしい茅ヶ崎」茅ヶ崎市経済部委託事業 3. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. 災害備蓄食糧「おかゆ」普及啓発事業 5. ふれあい畑塾の運営 6. 6次産業コンサルティング事業 7. 「湘南工房ブランド」開発事業 8. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」 9. 茅ヶ崎市行政提案型協働事業「落書き防止・抑制のためのペイント事業」 10. JT 財団 NOP 助成事業 11. その他の事業	茅ヶ崎市行政提案型協働事業にエントリーし、茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業並びに落書き防止のためのアートペイント事業をそれぞれ2年間に渡り実施している。2事業とも友好他団体との連携で事業を進めている。 また、JT 財団 NPO 助成事業に「ふれあい畑塾」関連で、事業を受託した。 事業受託により、畑塾メンバーの活動費が生まれ、実験農地として、炭素循環農法などを研究している。 別途、(財)食品産業センター及び(財)中央果実協会からの声がかかり、左記10・11の事業を実施した。単年度事業であり、かつ団体活動に直接関連する事業でなかったにもかかわらず、負担が大きかった。

西暦 2017年4月 ～2018年3月	1. 湘南スタイルホームページ運営事業 2. 「おいしい茅ヶ崎」茅ヶ崎市経済部委託事業 3. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 4. ふれあい畑塾の運営 5. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 6. アグリビジネスコンサルティング事業 7. 「湘南工房ブランド」開発販売事業 8. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市協働事業 9. 「落書き防止・抑制のためのペイント事業」：茅ヶ崎協働事業 10. JT 助成担い手育成事業 11. エディブルパーク茅ヶ崎運営事業 12. その他の事業	NPO活動は、企業も同様であるが、組織運営維持のための収入をどう確保する仕組みを創るにかかっている。ただ、NPOは、企業と違い社会貢献活動を事業構造の中心に据え、CB／SBの手法を使い、自己の持つ社会課題を解決する仕組みをメンバーの英知や行動で実現する楽しみがある。 社会課題は、行政も多くを抱えており、その解決策を補助金・助成金や委託事業として募集している。それらをよく見極め活用していくことも重要なファクターであり、本年度も茅ヶ崎市から3事業とJTの4事業が。さらには、みかん、畑、農産加工、6次産業化など多くの事業が関係している。
------------------------------------	--	--

西暦 2018年4月 ～2019年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. JT 助成担い手育成事業 7. エディブルパーク茅ヶ崎運営事業 8. 神奈川県ボランティア活動基金21 協働事業「湘南ワンハンドレッドPJ」 9. 湘南スタイルホームページ運営事業	新年号「令和」に代わる2019年度は、設立以来、理事長を務めてきた藁品から新理事長市川信治（茅ヶ崎技研㈱代表取締役）氏に引き継ぐ。 開設時から5年間に積み重ねていた負債を軽減するために経費の削減と新規事業及び業務委託を受け、湘南工房製品の販路開拓及び新商品開発を実施したことで、収入を増加させ、次年度の負担を軽減することができた。 神奈川県からNPO研修を毎年受入れしているが、その中で、新たな連携が始まり、二宮町も含め農産加工品の商品開発・販路拡大が開始された。また、新たに神奈川県とスタートしたボランティア活動基金21の協働事業のお蔭で、メンバーも増え団体の運営に明るい兆しが見えてきている。 昨年度から実施してきた、エディブルパーク茅ヶ崎は、事業主体者へ業務を移管した。
------------------------------------	---	--

西暦 2019年4月 ～2020年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. 神奈川県ボランティア活動基金 21 協働事業「湘南ワンハンドレッドPJ」 7. 湘南スタイルホームページ運営事業	市川新理事長の元、新しい湘南スタイルのあり方をメンバーと考え実践した。 湘南スタイルとして行うべき事業への選択と集中。日常業務の効率化、会議体の見直しを図った。当初は茅ヶ崎市への移住に関する事業を開始予定だったが行政との調整がつかず移住に関する新規事業を開始することができなかった。 湘南ワンハンドレッドプロジェクトは2年目が終わり、協働事業最終年度を見据え自走できる仕組みづくりをテーマに各リーダーが中心となり進め、2年目の取り組みは県からも高い評価をもらうことができた。
西暦 2020年4月 ～2021年3月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 農産加工品・おかゆ普及啓発販売事業 4. アグリビジネスコンサルティング事業 5. 「茅ヶ崎まるごと発見博物館動画配信事業」：茅ヶ崎市委託事業 6. 神奈川県ボランティア活動基金 21 協働事業「湘南ワンハンドレッドPJ」 7. 湘南スタイルホームページ運営事業	市川理事長体制の最終年。次世代への引き継ぎを中心に事業と業務の効率化を図り、持続可能な団体づくりに注力をした。 湘南ワンハンドレッドプロジェクトの最終年度で集大成として精力的に活動した。HPからの問い合わせも多く、社会の関心の高さを再認識し、協働事業終了後の自走できる仕組みづくりに各PJリーダーと取り組む。 湘南ワンハンドレッドプロジェクトを通して、様々な属性をもつ方との関係ができ、団体のプロジェクトにも積極的に関わる方も出てきて、活動の幅が広がった1年となった。 コロナ禍で新しい生活様式が求められる中、湘南スタイルの活動や関わる方の参加の仕方も大きく変化した。みかんはイベントが中止となった一方、畑塾は参加者が増えた。移住者が増えてきたこともあり、地域の事業者と協力をして、移住者と定住者とのコミュニティを作ることを中心に「移住座談会」を2回実施し、湘南エリアへ魅力と問題点を再度認識知ることができた。

西暦 2021 年 4 月 ～2022 年 3 月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 地場産品・農産加工品販売事業 4. 湘南ワンハンドレッドプロジェクト 5. キッチンカー・フードトラック事業 6. 湘南スタイルホームページ運営事業	市川前理事長から渡部が代表を引き継ぎ、事務局を兼務しながら活動を継続。既存の活動を継続しつつ、新たな湘南スタイルのあり方を模索する 1 年となった。 湘南みかんの木パートナーシッププロジェクトではこれまでの販路拡大や収穫サポートなどの支援から、後継者問題など持続可能な産業への移行が新たな支援と位置づけ、地域の大学や地域の方との連携を強化した 1 年となった。ふれあい畑塾ではコロナ禍の新たな生活様式の中で、農ある暮らしを取り入れる方が増えて来たことを実感し、専業農家による指導付き貸し農園を新たな農業のスタイルとするべく活動を継続した。 県の負担金事業が終了した湘南ワンハンドレッドプロジェクトでは、活動規模は縮小したもののメンバーがそれぞれ自走可能な活動を模索し、新たな芽が出始めてきている。 団体としては新たなメンバーも増え、できる人が、できる事を、できる時に活動をする社会貢献の仕組みを作り上げるべく活動をした。
西暦 2022 年 4 月 ～2023 年 3 月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 地場産品・農産加工品販売事業 4. 湘南ワンハンドレッドプロジェクト 5. キッチンカー・フードトラック事業	売上こそ前期を大きく下回ったが、経費の圧縮効果などもあり収益は改善傾向となったが、財務体質の安定化が大きな課題となる。 既存のプロジェクトは時代に合わせながら軌道修正を重ねている。湘南みかんの木パートナーシップでは大学や地域の団体との連携を深め持続可能な農業・産業への転換を模索している。ふれあい畑塾では生産緑地の指定から 30 年が経過した農地が茅ヶ崎市市内でも出てきていることから、農地保全が喫緊の課題と認識し、行政への働きかけを続けている。 市民側の農ある暮らしに対する需要はとても高く、新たな農家さんとの連携が課題となる。 湘南ワンハンドレッドから派生した企画ちがさきカンパニー構想を推し進めるべくメンバーと制度設計等の打ち合わせを重ね、2023 年度中旬ローンチに向け活動を継続している。

西暦 2023 年 4 月 ～2024 年 3 月	1. 「湘南みかんの木パートナーシップ」事業 2. ふれあい畑塾の運営 3. 地場商材開発販売事業「湘南工房」 地場産品・農産加工品販売事業 4. 湘南ワンハンドレッドプロジェクト 茅ヶ崎カンパニー 5. キッチンカー・フードトラック事業	湘南ワンハンドレッドプロジェクトから派生した「まちがまるごと仮想会社茅ヶ崎カンパニー」が始動し、40 名を超えるメンバーが集まり地域課題の解決に向けて活動を開始した。市民活動がボランティアだけではなく、活動に見合った対価が得られるよう、企業や行政の有償案件を取るべく仕組みづくりを行なっている。湘南ワンハンドレッドプロジェクトが終了してからは補助金・助成金に一切エントリーせずに団体運営をしてきたが、茅ヶ崎カンパニーを通して活動をする中で、資金があれば活動の幅が広がるプロジェクトに対しては積極的に助成金にエントリーし活動を持続可能なものとできるようチャレンジしている。 また、過去行っていたプロジェクトで田んぼの復活を長年検討していたが、今年度念願が叶って EARTHING FIELD と協働で活動を開始することができた。今年度は試験的な運用だったが来期は収益化でき、より多くの耕作放棄地を再生できるようプロジェクトを進める。
--	---	---

<第3号議案>

令和6年事業計画

<基本方針>

理事長に就任し4年目の今期は昨年度まで取り組んでいた組織のスリム化から筋肉質化に取り組んでいく。理事長就任後、既存のプロジェクトは継続しつつ、湘南スタイルらしさを模索していたが、まちがまるごと仮想会社茅ヶ崎カンパニーが始動し、湘南スタイルの中心的なプロジェクトとして地域や市民活動に関わりたいニーズへの対応や、想いを持って活動をしている活動家へのサポートなど湘南スタイルが地域で果たすべき役割が明確になってきたことを実感している。

<会議予定>

総会	6月24日(火)	(正会員・会員)
理事会	随時設定	(理事・監事)
PJ会議	随時設定	(リーダー・メンバー)
会計会議	毎月最終火曜日 11:00～	(渡部・大澤)

実施事業

特定非営利活動に係る事業

① 湘南「みかんの木パートナーシップ」事業

<内容>引き続きみかんの木パートナーシップ組合の自主運営を促進する為に支援を行う。

組合参加農家数は3軒(二挺木・井上・北原)。大磯町は町議会議員との連携が取れ行政の協力体制が構築できつつある。東海大学教養学部との産学連携も引き続き進めていく。今年は市内で化粧品製造を手掛けている茅ヶ崎香料と一緒に、摘果みかんの皮を使った化粧品づくりに取り組み、実際に商品化してクラウドファンディングにも挑戦をする。湘南のみかん農業を持続可能な農業・産業にするための企業や新規就農者とのマッチングをさらに強化して行く。

・PJメンバー	中村(雅)・菊池(奈)・山口(直)・渡部	
・対象者	みかん農家・JA 湘南・地元ボランティア・神奈川県 農業技術センター・加工業者・観光会社・CSR推進企業 一般消費者・学生	
・予算額	広報・パンフ・会議費・材料費・人件費等	154万円

② ふれあい畑塾事業

＜内容＞農と触れ合いたい市民・企業と農家を結ぶ地域コミュニティ創出事業。

地域振興プログラムとして持続可能な仕組みで自主運営。今年度は畑でのイベント等を行い塾生間のコミュニティをさらに強化する。生産緑地の指定から 30 年が経過し、生産緑地の解除が茅ヶ崎市でも進んでおり、農地が宅地や駐車場となっている場所が増えてきている。農地保全の観点からも畑塾の新たな区画の開発も進める。

・PJ メンバー	鈴木塾長 渡部	
・対 象 者	畑ユーザー・湘南スタイルメンバー	
・予 算 額	入園料・講師料・イベント費・情報発信	110 万円

③ 地場商材開発販売 「湘南工房」・農産加工品・おかゆ

＜内容＞競合する地場商品が増えていく中、地産地消・農家支援・規格外農産物の活用・障がい者の就労支援が出来る商品として、取り扱い企業の CSR に繋がる営業を展開し、新規の売り先の拡大を図る。また、団体が有する販路を、湘南エリアの他の事業者にも提供し、地域経済の活性化を図る。

新規の卸先として鎌倉のフレンチレストラン「ラ・バスティード・シュール・ラ・メール」との取引がスタートした。また、摘果みかんの皮を活用した化粧品作りに伴い、今期は数年ぶりに摘果みかんを搾汁するので、摘果みかん果汁の飲食店や洋菓子店等への販売も進める。

・PJ メンバー	渡部 原	
・対 象 者	デパート・ホテル・飲食店・ゴルフ場・小売店等	
・予 算 額	原料仕入・配送料・梱包資材・人件費等	300 万円

④ 茅ヶ崎カンパニー(湘南ワンハンドレッドプロジェクト)

＜内容＞茅ヶ崎カンパニーは当面の間、広くメンバー募集は行わず紹介制でメンバーを募り、現在関わっているメンバーと共に、まちのイベントの企画運営や、関係団体の活動のサポートを行い実績を積み上げていく。将来的には広く新規メンバーの募集を行い、企業や行政の案件を請け負える受け皿となる活動を目指す。現在、6つのグループに分かれ参加メンバーが主体となってプロジェクトを推し進めている。湘南ワンハンドレッドでは中村(容)さんが中心となって神奈川県立平塚中等教育学校での総合的な学習(探究)の時間の授業を全 4 回担当する。

・PJ メンバー	内波 池田 山口(順) 中村(容) 原 市川 小野寺 大西 中島 山口(直) 四條 渡部	
・対 象 者	神奈川県内の個人・企業・各種団体	
・予 算 額	イベント収入・各種制作物・助成金調達支援	80 万円

⑤ キッチンカー・フードトラック事業(湘南フードトラック協会)

〈内容〉行政との連携をさらに深め、今年度は茅ヶ崎市役所前広場にてイベントを年3回実施予定。7月・8月で茅ヶ崎に工場を構える大手企業の納涼祭イベントを3件受託。コロナが完全に収束しイベントも復活している中で、企業の納涼祭イベントや地域のイベントなどでのフードトラックの出店場所確保を強化する。市役所前広場では7月26日(金)27日(土)にビアガーデン企画、9月7日(土)は夜市、10月20日(日)はこどもイベントを計画中。登録事業者数は約130台と増えているが、良質な出店場所・イベント出店を確保するためにSNSでの情報配信を強化して存在価値を高める。

・PJメンバー	内波 渡部	
・対 象 者	キッチンカー事業者・商業施設・一般消費者	
・予 算 額	出店料・イベント費・情報発信	24万円

<第4号議案> 令和6年度 収支予算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

科 目	予算	法人繰入収入	備 考
I 収入の部			
1 会費・入金会収入	492,000	492,000	12千円×20名/3千円×4名 茅ヶ崎カンパニー 2万円×12ヶ月
2 法人会費	30,000	30,000	30,000円×1社
3 法人事業収入	400,000	40,000	業務受託料
4 湘南スタイル交流会・イベント費	0	0	
5 湘南みかんパートナーシップ事業	1,535,000	250,000	みかんパートナー35口・みかん販売100箱
6 ふれあい畑塾	1,100,000	1,050,000	40区画
7 地場商材開発販売「湘南工房」	3,000,000	360,000	みかん・トマト・原材料等
8 ちがさきカンパニー(湘南100PRJ)	800,000	200,000	イベント収入・制作物・業務委託・研修
9 キッチンカー・フードトラック事業	240,000	190,000	業務委託費
10 トヨタ財団	240,000	240,000	業務委託費
当期収入計(A)	7,837,000	2,852,000	
その他収益事業会計より繰り入れ	0	0	
当期収入合計 (A)	7,837,000	2,852,000	
II 支出の部			
1 事業費	総事業費		
①湘南スタイル交流会・イベント費	0		会費・イベント等
②湘南みかんパートナーシップ事業	1,285,000		みかん・パートナーシップみかん代金
③ふれあい畑塾	50,000		イベント費等
④地場商材開発販売「湘南工房」	2,640,000		みかん・トマト・原材料等
⑤ちがさきカンパニー(湘南100PRJ)	600,000		業務委託費・謝金
⑥キッチンカー・フードトラック事業	50,000		会議費・販促費・振込手数料
⑦トヨタ財団	0		
当期事業支出(B)	4,625,000		
2 管理費			
① 給料手当	1,800,000		団体運営費(人件費・その他)
② 事業人件費	0		アルバイトスタッフ等
③ 運賃	30,000		加工品発送等 ヤマト運輸
④ 会議費	50,000		勤労市民会館 プロジェクト会議
⑤ 旅費交通費	20,000		レンタカー・交通費等
⑥ 通信費	80,000		電話・郵便・新聞
⑦ 消耗品費	80,000		事務関連
⑧ 水道光熱費	0		
⑨ 諸会費	50,000		諸会費・寄付交際費
⑩ 支払手数料	60,000		振込料、代引手数料
⑪ 賃借料	150,000		コンテナ倉庫
⑫ 保険料	50,000		NPO団体保険料
⑬ 租税公課	70,000		法人税・県民税・収入印紙
⑭ 雑費	10,000		
⑮ 顧問料	270,000		税理士(決算処理)・社会保険労務士
⑯ 印刷費	50,000		コピー・パンフレット
⑰ Webコンテンツ制作費	0		全事業Web関係
⑱ イベント費	50,000		イベント費
⑲ 業務委託料	360,000		外注費
事業管理費計(C)	3,180,000		
当期事業支出 (D) (B)+(C)	7,805,000		
当期収益 (E) (A)-(D)	32,000		
その他事業会計より繰入	0		
営業外損益 (F)	0		
借入金返済支出	0		
経常利益 (G)=(E)-(F))	32,000		
次期繰越金	0		

～会費納入のお願い～

2024 年度会費納入を会員各位にお願い申し上げます。本総会終了後に次年度分の会費を受付させていただきます。

お振り込み希望の方は以下の口座にお願いいたします。

湘南信用金庫 茅ヶ崎営業部 普通 4205592 トクヒ) ショウナンススタイル

正会員	12,000 円
会員	3,000 円
法人会員	30,000 円(一口)